

コースを変更しましたが、今回は橋が通行可能になり、ほぼ例年通りのコースで行われました。

大会には、北海道や福岡県など全国からエントリーを受け、当日は、10マイル、10キロ、5キロ、親子ファンラン、身体障害者の種目に合計で4,453人が参加し、過去最大だった前回の4,460人に次ぐ2番目の参加者数となりました。

今大会は市制施行45周年記念大会として、10マイルの最高成績者に市長賞を贈呈しました。

大会の運営は、実行委員、各種団体応援スタッフ、市関係応援スタッフに加え、市内小・中・高等学校や八千代リハビリテーション学院の学生、ランナーへのマッサージサービスをするトレーナーステーションのボランティアも含め、800人を超える人たちが携わりました。

この大会は、市民の体力と健康の増進を図るとともに、本市の大きなPRとなるものとして、今後も継続していきたいと考えています。

**■第22回コミュニティワールドカップサッカーin八千代** 技術の向上及び市民の国際理解を深めることを目的に、今年で22回目を迎えるこの大会は、大韓民国から「仁川広域市選抜」、県外各地から10チーム、県内から八千代市選抜と八千代市立村上中学校を含めた5チームの合計16チーム、300人以上の選手が参加し、12月22日から4日間の日程で開催されました。

今回も前年に引き続き、東日本大震災の記憶を風化させないよう、岩手県陸前高田市と福島県いわき市からチームを招待し、このために実行委員会が行った募金活動では、多くの事業所などから支援をいただきました。

今回は市制施行45周年記念として、12月22日に市民体育館で行われた開会式で、開会式参加チーム全体で集合写真の撮影を行い、参加チームや大会に支援いただいた事業所などに大会記念として写真を配布しました。

**■平成25年八千代市成人式** 二十歳になった青年たちが将来へ向かって人生を強く生きるよう励まし祝福するため、今年も1月14日の成人の日に開催し、多くの輝かしい新成人を祝福することができました。

今年度の対象者は、男性844人、女性872人の合計1,716人で、当日の出席者は、男性594人、女性614人の合計1,208人、出席率は70パーセントで、昨年より約3ポイント増えました。

成人式の運営は、団体や企業の協力を得た市民参加型により二部構成で実施し、オープニングセレモニーとして県立八千代高等学校の「鼓組」による和太鼓の演奏の後、厳粛な雰囲気の中で第1部の式典が行われ、新成人代表の言葉をもって滞りなく終了しました。

第2部の記念行事は、新成人4人をはじめとしたプロジェクトメンバーが青少年育成関係団体である八千代市青年フォーラムのサポートのもと、アトラクションの運営や会場内での様々な展示を行いました。なかでも、スライドショーは、出身中学校の映像が映し出され、参加した新成人にとって、懐かしい思い出を振り返る良い企画になりました。

来年の成人式は、市民会館が4月にリニューアルオープンするため、従来の形である市民会館での開催を予定しています。

**■「東日本大震災」に伴う、り災証明発行など一般家庭の住家被害は、1月末現在で「り災証明書」の発行件数が1,466件で、前回定例会報告時から、「一部損壊」が15件の増となっています。**

市役所で受け付けた義援金の状況は、1月末現在1,232万5,294円で、前回定例会報告時から38万1,295円の増となっています。

**■東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う放射性物質調査** 空間放射線量の自主測定は、第3期測定計画に沿って実施しています。1月の定点測定結果は、いずれも地表0.5及び1メートルで毎時0.07から0.20マイクロシーベルトの範囲であり、環境省令に規定する除染実施計画を定める区域の要件である毎時0.23マイクロシーベルト以上の放射線量を検出した箇所はありませんでした。また、11月から1月に施設管理者が実施した小学校、公園、調整池など67施設の測定結果は、地表0.5及び1メートルで毎時0.05から0.22マイクロシーベルトの範囲でした。今後も計画に沿って、定期的に測定を実施します。

**■清掃センターにおける放射性物質の測定結果** 焼却灰1キログラム当たりの放射性セシウム濃度は、1月の測定結果で国の埋立に関する基準1キログラム当たり8,000ベクレルを下回っています。最終処分場周縁の地下水、浸出水処理施設の放流水の放射性セシウム濃度や、敷地境界での空間放射線量測定の結果も、すべて基準値以下です。

今後も引き続き測定・モニタリングを行い、

適正な廃棄物処理を行います。放射性物質調査の測定結果の詳細は、ホームページなどでお知らせしています。

**■原子力発電所の事故に伴う東京電力株式会社への賠償請求** 前回定例会で、廃棄物処理施設及びし尿処理施設の賠償として、5,786万8,887円を申請したことを報告しました。この内、し尿処理施設の請求分6万3,000円が12月7日に、廃棄物処理施設の放射線測定費用など818万2,860円が2月18日に、それぞれ納入されました。この結果、これまでに東京電力株式会社から支払われた賠償額は、1,196万6,141円となりました。

学校給食などの放射性物質検査に要した費用は、東京電力株式会社から賠償の準備が整った旨の連絡があり現在、担当部署で請求の準備をしています。原子力発電所事故に伴う損害は、請求内容が取りまとめられたものから請求します。

**■ヘキサメチレンテトラミンの流出に伴う水質事故に関する損害賠償請求** 24年5月、利根川水系の浄水場で高濃度のホルムアルデヒドが検出された事故について、原因物質のヘキサメチレンテトラミンの排出者である埼玉県DOWAハイテック株式会社を相手に、千葉県、東京都、茨城県、群馬県、埼玉県の1都4県の水道事業体、北千葉広域水道企業団及びその構成団体である八千代市、松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、習志野市が共同で、これまで損害賠償の話し合いを続けてきました。しかし、合意に至らなかったため、各水道事業体と共に本市は事業管理者名で、24年12月26日付けで同社に対し不法行為に基づく損害賠償請求を行いました。

1都4県などの水道事業体全体での損害額は約2億9,300万円で、本市が被った損害金額は、応急給水費、人件費などで608万3,917円ですが、支払期限とした1月18日を経過しても履行されず、同社からの回答も本市の考えと相容れない内容でした。そのため、現在、関係の水道事業体と連携し、訴訟を含めた対応を検討しています。

問い合わせ 483-1151(代表)

予算案／財政課  
そのほか／総務課

### 千葉県知事選挙 八千代市の選挙結果

千葉県知事選挙(3月17日執行)の八千代市の選挙結果は次の通りです。県全体の結果は、県選挙管理委員会 043(223)2142へ。(選挙管理委員会)

#### ■投票結果

	当口有権者数	投票者数	投票率
計	14万9573人	4万8491人	32.42%
男	7万3832人	2万4004人	32.51%
女	7万5741人	2万4487人	32.33%

#### ■開票結果(3月17日午後10時確定) ※得票順

当選	候補者氏名	党派	得票数
	森田 健作	無所属	3万5686票
	三輪 定宣	無所属	1万449票
	佐藤 雄介	無所属	1437票

※有効投票 4万7572票  
※無効投票 919票

### 防災行政無線やツイッターなどでPM2.5の注意を呼びかけています

PM2.5(微小粒子状物質)は、粒子の大きさが非常に小さい(髪の毛の太さの30分の1)ため、肺の奥深くまで入りやすく、喘息や肺がんなどを引き起こす恐れがあります。

市では、広い地域にわたってPM2.5による健康への影響が考えられる日は、県からの情報提供をもとに、午前9時ころを目的に防災行政無線やツイッターなどで注意を呼びかけています。「やちよ情報メール」の「環境情報メール」でも情報を配信しています。

注意喚起は、千葉県内の一般環境大気測定局(29局)で、午前5時から7時までの1時間値が85マイクログラム/立方メートル(日平均値70マイクログラム/立方メートルに対応する値)を複数の局で超えた場合に行います。PM2.5の注意喚起に関する情報は、県および市ホームページに掲載されています。※注意喚起の解除のお知らせは行いません

PM2.5が高くなりそうな日には、窓の開閉を必要最小限にしたり、高性能な防じんマスクを着用したり、屋外での長時間の激しい運動や外出を控えたりするなど対策を心掛けましょう。(環境保全課)

### 災害時の給食支援等に関する協力協定を締結

4月1日に、西八千代調理場の運営を担う八千代学校給食PFI(株)代表企業(株)東洋食品と、災害時における給食・炊き出し支援などに関する協力協定を締結しました。これにより、本市では35件の災害時協力協定締結となりました。(総合防災課)